

令和3年度 西紋地区ホタテガイ採苗情報(No.4)

令和3年4月 21 日

網走西部地区水産技術普及指導所

4月20日に沙留、紋別海域で行った浮遊幼生調査の結果をお知らせします。

130 以下～190 μm のホタテ幼生を確認。

◎浮遊幼生調査結果(表1)

各海域のホタテ幼生の出現状況は下記のとおりです (免疫染色法による)。

- 【沙留】 上側水深 20m 130 以下～190 μm 224.2 個/トッ (他二枚貝 181.1 個/トッ)
- 下側水深 20m 130 以下～160 μm 142.9 個/トッ (他二枚貝 66.5 個/トッ)
- 【紋別】 水深 20m 130 以下～170 μm 227.8 個/トッ (他二枚貝 258.2 個/トッ)

各海域のモードは 130 μm 以下を除くと 150 μm 付近にありました (図1)。出現数が多かった 130 μm 以下の幼生は 120 μm が主体となっていました。

表1 浮遊幼生調査結果

		沙留(上20m)		沙留(下20m)		紋別(20m)	
		4月20日		4月20日		4月20日	
ホ タ テ ガ イ	殻長	個数	個/トッ	個数	個/トッ	個数	個/トッ
	130以下	308	217.9	197	139.3	304	215.0
	140-	1	0.7	2	1.4	4	2.8
	150-	4	2.8	2	1.4	9	6.4
	160-	2	1.4	1	0.7	4	2.8
	170-	1	0.7			1	0.7
	180-						
	190-	1	0.7				
	200-						
計	317	224.2	202	142.9	322	227.8	
その他二枚貝		256	181.1	94	66.5	365	258.2

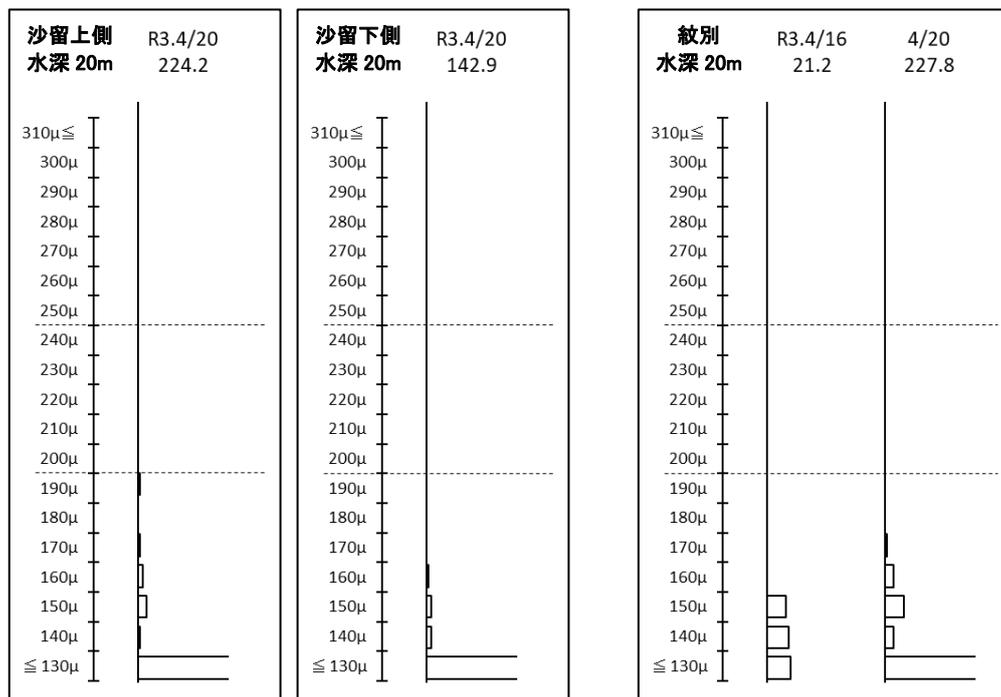


図1 殻長組成推移(表示:0～30 個/トッ)

単位: 個/トッ

◎環境調査結果

底水温は6.0°Cでした(表2)。前年同期よりも高く推移しています(令和2年4/20: 雄武海域4.2~4.4°C)。

サンプル海水は前回よりも植物プランクトンが少なく、動物プランクトンが多くなり、濁りが薄くなりました。

表2 環境調査結果

深度 m	沙留				紋別	
	上20m		下20m		20m	
	水温°C	塩分psu	水温°C	塩分psu	水温°C	塩分psu
0	6.2	32.78	6.2	32.81	6.0	32.73
5	6.2	32.92	6.2	33.00	6.1	32.94
10	6.0	33.17	6.0	33.17	6.0	33.02
15	6.0	33.20	6.0	33.20	6.0	33.02
20	6.0	33.20	6.0	33.20	6.0	33.01

◎他地区の情報

・成熟度調査

増毛(4/18) 生殖腺指数: 26.4 (前回から横ばい)

・浮遊幼生調査

鬼鹿(4/16) ホタテ幼生: 出現なし 他二枚貝: 出現なし

増毛(4/20) ホタテ幼生: 1.3個/トッ (150 μm) 他二枚貝: 3.8個/トッ

枝幸(4/20) ホタテ幼生: 平均1.3個/トッ (140~170 μm; モード150 μm)
他二枚貝: 平均56.4個/トッ

◎今後の調査予定(浮遊幼生調査)

4/22 雄武地区

4/23 紋別地区